

戦争を許さない女たちのJR連絡会



# いのち輝く



〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 JR総連内 ☎ 03-3491-7191 JR 057-4596

「JR浦和電車区事件」無罪判決を勝ちとるまで

## 「美世志会」無実の訴え届け！

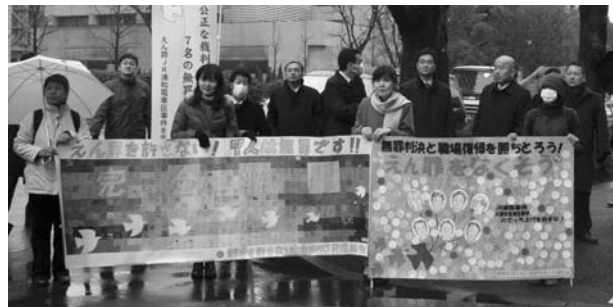


連休明けの5月7日から、控訴審勝利に向けた「美世志会全国キャラバン」がスタート。労働組合にとって大切な団結権を守り闘っている「美世志会」の仲間たちが、全国をまわり、約40箇所が無罪を訴えました。

私たちも「えん罪・JR浦和電車区事件」「蒲郡駅事件」を通じて、「弾圧」や「えん罪」について学び連帯してきました。働きがいある社会をめざし、平和問題や社会的問題に目を向ける労働組合の存在は大切な

もの。だからこそ国家権力のターゲットになったJR総連・各単組。打たれば打たれるほど、跳ね返そうと燃えたこの6年半、私たちは無罪への揺るぎない確信を強め、「美世志会」とともに歩んできました。

いよいよ6月5日は控訴審判決！ 何があっても“へこたれない！”、これからも生き生きと元気なパワーで、「平和・いのち・仲間の輪」を大切に、完全無罪・勝利をめざして輪を広げていきましょう！



控訴審公判の日は毎回女性たちが横断幕を持って並んだ

←5月7日から29日まで全国キャラバン行動で奮闘した美世志会の皆さん

加藤誠二さん・家族とともに闘おう！

### 蒲郡駅事件 不当判決を許さない！



2007年7月、突然の「窃盗」容疑による家宅捜索で始まった弾圧事件「JR蒲郡駅事件」の被告・加藤誠二さん（当時JR東海労名古屋地本業務部長）に対し、名古屋地裁は4月21日、不当にも「懲役6カ月、執行猶予2年」の有罪判決を言い渡しました。会社がでっち上げたことで事件の被告とされ、無実を訴えている加藤さんを直ちに懲戒解雇処分としたJR東海会社の暴挙は許せません。その後加藤さんが地位確認（解雇無効）を訴えた名古屋地裁の民事裁判では、5月19日「請求棄却」の不当判決が言い渡されました。

無実を訴える者が処罰されて良いのでしょうか。その判決文こそ、何らの物的証拠がないなかで、推論の積み重ねによって加藤さんを犯罪者に仕立て上げた裁判であったことを証明しています。無実を訴える加藤さんとともに、裁判の不当性を訴え、控訴審勝利に向け一緒に闘いましょう。

**裁判員制度**  
5月21日から裁判員制度がスタート。前日に行われた「なくせ！えん罪大集会」では、「講談」や「構成劇」で裁判員制度の問題点を浮き彫りにしました。えん罪被害者の視点からも問題が指摘され、まさに「えん罪大国」と言われる日本の危うさが見えてきました。現にある問題点を正すことなく、専門外の裁判員に重い負担をかけることは、矛盾をより拡大させ誤判を招くのではと心配です。裁判員の判断は、結果として「多数決」という名の強制により束縛され、さらにその判決を不服とし控訴があれば、もはや審議は裁判員の手を離れてしまいます。制度の改善に向け徹底した議論が求められます。

ソマリア沖への自衛隊派遣は憲法違反！ 海賊対処法案の撤廃を求めます



# 韓国・水曜デモと平和紀行



5月18日～21日の4日間、9条連主催の「韓国・水曜デモと平和紀行」が行われました。

5月20日で第866回目となる水曜デモは9条連が主管しました。当日は、労働組合や宗教団体、学生たちなど約80人が集まり、憲法9条紙芝居や海勢頭豊さんのライブなど盛りだくさんの内容でした。

19日にソウルから少し離れた独立記念館を見学し、「慰安婦」として最初に名乗りをあげた金学順ハルモニが眠る望郷の丘をお参りしました。また平和学習会では、挺対協・常任代表の尹美香さん、韓国9条の会・事務局長の金承国さんに、東アジアの平和を創るためにどう連帯の輪を拡げていくかについて講演をいただきました。2010年は、韓国併合から100年の節目の年。誤った歴史を繰り返さないために私たちは何をすべきなのか…考えさせられた平和紀行となりました。



今回の「韓国水曜デモ、平和紀行」は、訪韓が初めての私にとって、日本の韓国に対する残虐な歴史を突きつけられると同時に、私自身の平和への思いを改めて決意させるものでした。

2日目に独立記念館と望郷の丘を訪れました。独立記念館では多くの子供たちを前に、日本軍の虐殺や拷問の現実を見ながら、日本人として本当に恥ずかしい思いでいっぱいでした。「日本軍慰安婦」の展示の前で、ガイドさんの「過去の歴史を自分と無関係と思わないでほしい」という言葉がさらに胸を打ちました。日本に強制連行された多くの方が眠っている望郷の丘では、無縁仏となった方々の墓碑が数多くあり、強制連行され亡くなった方々の無念の思いを痛感しました。3日目に訪れた日本軍がつくったという西大門刑務所跡では、監獄や拷問室が残され、独立運動の闘士たちが拷問を受け亡くなったという歴史を知り、韓国の方々が独立や民主化をたたかいてきたことに強い衝撃を受けました。

とても重い気持ちの中で、ウリチプでハルモニたちや挺対協のみなさんから歓迎していただき、平和のために同じ立場でたかかっていくことが、私が果たすべき責任だと強く思いました。水曜デモや挺対協での平和学習会、交流会の中で、私たちが日韓という国の違いをこえて平和を実現していくことが、今私たちに問われていることだと思いました。 R・Y

## 参加者からの感想文

以前、ナムムの家を訪れたことがあり、またハルモニに会いたいと思い、参加しました。

ウリチプでハルモニと交流する機会がありました。過去の話を聞くのではなく、水曜デモに向けて、楽しく夕食をともにすることが目的でした。明るく接してくださるハルモニの姿、ご飯をこぼしながら一生懸命口に運ぶ92歳のハルモニを見て、本当にお元気なうちに会って、顔を見て、生の声を聞いて、自分たちに何ができるのかを考え、行動に移していかなければと感じました。

翌日、水曜デモに臨みました。交流したハルモニやナムムの家からもハルモニが参加していました。正直あと何年この水曜デモが続けられるのかと思うほど、みんなお婆ちゃんでした。水曜デモを知らなかったので学校を休んで参加したという学生さんたちもいて、韓国内でもまだ取り組みを知らない人がいるようでした。どこの国でも、特に平和問題に関すること（日本で言えば沖縄や原爆など）は、自分に関係ないとか、知らないとか、興味がないという人たちが大勢いるのです。いかに興味を持ち、取り組みを理解し、協力してもらえるようになるかが、私たちの役目だと強く思いました。

独立記念館や西大門刑務所歴史館の見学もしました。沖縄の平和資料館とは全く違い「愛国心を育てる」施設になっていたと思います。「愛国心」が必要か不要かは別の話になるかと思いますが、今の日本人は、今の自分さえよければという人が多く、過去を学んでいない人が多いように感じます。過去を学び、今は平和だからという考えを払拭して、家族・仲間・日本・世界が平和であることを考えなければならないと思います。

JR東労組 女性協 A・O



水曜デモに初めて参加しました。

最初に話をいただいたときは迷いましたが、外の世界を見てくるのも良いかなあと参加を決めました。

11時30分より、日本大使館前にて準備を始めていると徐々に人が集まってきて、ハルモニ達を含め総勢80人ぐらいに。東労組君塚さんの司会、シュプレヒコールから始まり、各会からリレートーク、海勢頭さんのライブと続き、日本政府へ日本軍の犯した行為に対し、賠償と謝罪を訴えてきました。

最後は琉球賛歌に合わせて踊り、ハルモニ達も前に出てきて一緒に踊っていました。暑かったけど、無事に1時間のデモは終了しました。

水曜デモも、1992年から始まり今年で17年、866回になるそうです。「慰安婦」被害者である、ハルモニもこの一年間で13人も亡くなっているそうです。17年も訴えているのに、いまだに日本政府は何一つしないという事に腹ただしさを感じました。一日も早く水曜デモをしなくても良くなるような日が来たら良いと思います。

貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

青空の会 K・A

青空の会

# 松代平和研修に行きました



4月12～13日、JR貨物労組東海地本の松代平和研修に、「青空の会」からも参加しました。長野にある「松代大本営地下壕」(象山・舞鶴山)、上田市「無言館」などを中心にガイドの方の説明を聞いたりして、見学しました。参加された家族の方の感想をご紹介します。

今回で4回目となる平和研修、今年は長野県の松代に行ってきました。初日は松代象山地下壕と舞鶴山見学。ここに軍部が大本営や政府機関等に移すため、終戦までの約9カ月間に約2億円を投入し、延べ300万人が強制的に動員されたそうです。このような目的のために壕を掘削(くさく)しているとは、地域の人々が全く知らなかったことに驚きました。また、敗戦後に各地を巡察された昭和天皇はこの壕跡を見られ、「無駄な穴をたくさん掘ったのはここですか?」と尋ねたそうです。極秘で造られたとはいえ、軍の最高司令官である天皇が知らぬはずもなく、このような質問が出てこようとは夢にも思わなかったことでしょう。しかもこの建設のために、沖縄が犠牲になったのかと思う

とやるせない気持ちになりました。

2日目は戦没画学生の遺作等が展示されている美術館『無言館』を鑑賞しました。300点余りの作品にはそれぞれ小さく説明が付いており、父親は名誉だと喜んでいますが本当は戦争に行きたくないと兄弟に耳打ちしたエピソードや、出兵前に帰還できたら絵画留学したいと希望したが戦地で亡くなったなど召集のために筆を置かなければならなかった無念さが伝わってきました。

今回の研修で軍部は本来守るべき国民を盾にし、尊い多くの命を犠牲にしたことを再認識したと同時に、同じ臭いがし始めた日本への警鐘でもあるように感じました。  
K・S (家族)

おりづるの会

# 東海地協主催「カンボジア平和研修」に参加して

4月4日～7日、東海地協主催のカンボジア平和研修におりづるの会から3名が参加しました。驚かされたのは、幼い子供たちの物売りの多さです。素足の子供たちがとっておきの笑顔をつくり、押し寄せてきます。その姿はたくましくも見えますが、同時にせつなくてやりきれない思いで胸が痛みます。



子供たちからは何も買いませんでしたが、私が一枚のTシャツを買うことで、ご飯がお腹いっぱい食べられるとか、病気の子供もが病院へ行けるならどうする? 買うべき? とも思いました。どうする事が正しい

のか考えても答えは出ず、すっきりしませんでした。

アキラ地雷館では地雷の恐ろしさが、写真や絵、展示品から伝わってきます。カンボジアでは繰り返された戦争やポルポト政権の弾圧などのために、今も多くの人が貧しい生活を送り、地雷や病気のために幼い子供たちが生命を落としています。

戦争は本当に残酷です。平和のためには今かけられている不当な弾圧を絶対に許してはならないということであらためて実感できた研修でした。

Y. K

## 美ら海守れ

5連協の平和研修で沖縄に行きました。まず訪ねたのは辺野古。青く美しい海を望みながら、辺野古新基地建設の現状を伺いました。砂浜の途中、有刺鉄線で遮られている先は一步入れば、射殺されても文句を言えない米軍管理下。でも有刺鉄線に巻き付けた無数のリボンに、基地に反対する人々の抵抗が見て取れました。辺野古の基地建設を何度もはね返してきた住民の意思が無視され、今も新基地計画は進行中です。政府が反対運動を抑えるため、利権をちらつかせ地元を分断を策すなか、環境問題やジュゴンを守る柔軟な視点からも闘いが展開されています。

辺野古の帰り道、米戦闘機の耐え難いほどの爆音に遭遇。これは許せない! まるで戦場! と怒りを覚えました。戦争の犠牲となった沖縄の人々に、「基地の負担軽減」を餌に子や孫の代まで犠牲を強いるのは誰ですか。この現実を決して忘れてはならないし、沖縄の人々とともに声をあげていかなければと思いましたが、S・T



### ビルマ便り

ビルマ軍事政権は、長期の自宅軟禁を強いてきたアウンサンスーチーさんを、今度は「国家防衛法違反罪」という罪で逮捕しインsein刑務所での裁判を行っています。このような暴挙を受けても決して冷静さを失わず、凛として気高いスーチーさん。その姿は多くのビルマ民衆の心を捉え民主化闘争の象徴の人となっています。私たちが軍政下で苦しい生活を抱えているビルマの人々に思いをはせ、スーチーさんの一日も早い釈放を願うとともに、ビルマ民主化のために連帯します。今回から在日ビルマ女性からの投稿を連載します。この欄を通じ私たちがビルマ問題にもっと目を向けていきたいと思ひます。(編集部)



5月27日、スーチーさんとすべての政治囚の釈放を求める集会・デモが行われました。

### No.1 ビルマの水かけ祭り

ビルマでは、1年のなかで一番大切な「水かけ祭り」(お正月の祭り)が4月に行われます。東京でも4月12日、武蔵野市「井の頭公園」で、ビルマの水かけ祭り(ダジャン)が開催されました。このお祭りは、お互いに水をかけあって1年間の汚れを洗い、新年を迎えるというものです。

この日、日本滞在のビルマ人2,000人以上が「水かけ祭り」に集まり、日本の方々も参加しました。祭会場では、ビルマの食べ物を食べ、ビルマの踊りを見て、ビルマの歌を聞き、祖国を思い出しました。

ビルマでも、全国でお互いにお水をかけあい、どこを見ても人々が水でびしょびしょになって、道路には踊りや歌声で溢れているでしょう。中高年の方々はお寺やパゴダなどへ、平和に



幸せに行けるのでしょうか。

政治や生活などが厳しいなか、ビルマ国内の国民は新年を楽しみに迎えられるでしょうか。平和で公正な国を望んで新年を祈っていることは間違いありません。日本にいる私たちも、さまざまな厳しい制約のなかで生活していますが、伝統文化を守り、水かけ祭りを行いました。

東京での水祭りは、私たちにとって、あらためてビルマ軍事政権と闘う力になりました。

イテッサン (東京在住)

### あれこれコラ「因果応報」



当初豚インフルエンザと呼ばれていたものが、誰への

配慮なのか『新型』と呼ばれ始め、なんとなく歯がゆい。

専門的にBSE問題とは同種ではないのかもしれないが、家畜との因果関係が噂されているあたり、思わず連想してしまうのは私だけではないと思う。

たしかBSEの時は、人間が極めて商業的な理由から、本来草食動物である牛に肉骨粉を与え『共食い』を強制していた事が原因だとする説もあったはずだ。

BSE問題も豚や鳥のインフルエンザも、生き物の遺伝子まで組み換えてしまう人間の、強欲に対する反撃のように思える。

「因果応報」と声に出してみた。子供たちに明るい未来を贈るにはどうすべきなのが見えてきた気がする。(編集部 S・A)

### ★ JR福知山線脱線事故から4年! ★

JR福知山線脱線事故からもう4年が経ちました。今年の4月25日は朝から冷たい雨と風の天気になりましたが、脱線現場で黙祷をし、献花を行いました。4年を経てもまだJR西日本は自ら事故の原因を明らかにせず、多くの犠牲者に対する真摯な企業責任はとっていません。

そのようななかで、脱線事故列車の車掌だった松下さんは4月14日にJR西日本を相手取り「車掌として職場復帰すること」などを求めて大阪地裁に提訴しました。この提訴をめぐり、遺族の声として「何故、今なのか? 遺族の感情を逆なでしている」「一度も遺族の前にでないで順序が逆ではないか」と批判の声が報道されました。しかし、ある遺族の人は「車掌に復帰したいという松下さんの意思を尊重したい。事故の原因を問われているのは会社であり、企業体質を問う裁判は心から応援したい」とエールを送ってくれました。事故後から続いた適応障害や不眠症を克服し、再び車掌として働きたいという松下さんの闘いはJR西日本の企業体質を問う重大な闘いなのです。

(星砂の会 F・H)

◆おすすめ映画「ボチの告白」上映館：仙台市・仙台フォーラム5月30日～6月5日、今治市・アイシネマ今治5月30日～6月12日、山形市・山形フォーラム8日